

令和4年12月22日  
第八管区海上保安本部  
海上保安学校

## 第八管区海上保安本部・海上保安学校

### 定例記者懇談会

- 1 日時  
令和4年12月22日（木）午後2時00分から
- 2 場所  
舞鶴港湾合同庁舎2階 第1会議室
- 3 発表事項  
＜第八管区海上保安本部＞
  - ・令和4年における海難発生状況（12月18日現在の速報値）  
～行動制限のないコロナ禍の夏。遊泳中の人身海難が増加！～
  - ・1月18日は「118番の日」です  
～118番は海上保安庁の緊急通報用電話番号です～
  - ・令和4年「八管トピックスTOP10」決定！  
～アンケートにご協力いただきありがとうございました～  
＜海上保安学校＞
  - ・海上保安学校学生採用試験の結果（速報）について
- 4 業務説明  
＜第八管区海上保安本部＞
  - ・巡視船ができるまで
  - ・運用司令センター見学について

## 令和5年1月業務予定

日	曜	業務内容	備考
継続			
1	日		上旬
2	月		
3	火		
4	水		
5	木		
6	金		
7	土		
8	日		
9	月		
10	火		
11	水		中旬
12	木		
13	金		
14	土		
15	日		
16	月		
17	火		
18	水	118番の日/商業施設での「118番」街頭周知活動<第八管区海上保安本部等>	
19	木		
20	金		
21	土		下旬
22	日		
23	月		
24	火		
25	水		
26	木	第八管区海上保安本部・海上保安学校定例記者懇談会	
27	金		
28	土		
29	日		
30	月		
31	火		



問合せ先：第八管区海上保安本部交通部  
交通部安全対策課長 牛崎 泰成  
TEL 0773-76-4100（内線 2640）

令和 4 年 12 月 22 日  
第八管区海上保安本部

## 令和 4 年における海難発生状況(12 月 18 日現在の速報値)

### ～行動制限のないコロナ禍の夏。遊泳中の人身海難が増加！～

第八管区海上保安本部管内では、船舶海難は 169 隻（前年比 12 隻減）で、約 6 割がプレジャーボートによるものであった。

プレジャーボート限定では 104 隻と減少（前年比 17 隻減）するもミニボートによる海難は 20 隻（過去 5 年平均 15.4 隻）と高い数値であった。

人身海難は 175 人（前年比 5 人増）であり、そのうち約半数（90 人）がマリレジャーに伴う海浜事故であった。

夏季期間（7 月、8 月）における遊泳中の海難は 36 人（前年比 11 人増）、死者 7 人（前年比 3 人増）であり、コロナ禍（令和 2 年以降）で最大となった。

#### 1 船舶海難の発生状況

##### (1) 船舶海難隻数

- 船舶海難隻数：169 隻、死者・行方不明者数：0 人【表 1-1 参照】
- 船種別ではプレジャーボート<sup>※1</sup>の海難が最も多く、104 隻（前年比 17 隻減）であった。

##### (2) 船舶海難の特徴

- 船種別では、プレジャーボート<sup>※1</sup>の海難が最も多く、5 月から 11 月にかけて多く発生し、事故原因の 4 割が機関故障であった。【表 1-2、1-3、1-4 参照】
- ミニボート<sup>※2</sup>の海難は 20 隻で前年比から 3 隻減少したが、5 年平均 15.4 隻を上回る状況であり、事故原因は機関故障が約半数を占めている【表 1-5、1-6 参照】  
要因としてコロナ禍における三密回避としてミニボートで手軽に釣りを楽しむ人が増加したことが要因として推測され、本年もそれが継続していると考えられる。

#### 2 人身海難の発生状況

##### (1) 人身海難人数

- 人身海難人数：175 人、死者・行方不明者数：57 人【表 2-1】
- 令和 4 年に発生した人身海難はマリレジャーに伴う海浜事故<sup>※3</sup>が最も多く 90 人（前年比 14 人増）死者行方不明者 22 人（7 人増）であった。【表 2-2】

##### (2) 人身海難の特徴

- 令和 4 年のマリレジャーに伴う海浜事故は、夏季（7 月、8 月）の遊泳中が最も多く 36 人（死者 7 人）、次いで釣り中 32 人（死者 6 人・行方不明者 4 人）が多い
- 夏季遊泳中の海難は前年比 11 人増（死者 3 人増）と大幅に増加した【表 2-3】
- 要因としては、昨年に比べ不開設海水浴場が減少し、管理された海域が増加したことに加え、3 年ぶりに行動制限のない夏で遊泳者が増加したと考えられる。

- 事故者の居住地別では、遊泳中の約 6 割、釣り中の約 4 割を管区外居住者が占め、どちらも関西・中部地方から若狭地方へ、山陽地方から山陰地方への来訪者による事故が多く見受けられた。【表 2-4】

※1:「プレジャーボート」とは、モーターボート(ミニボート含む)、ヨット、カヌー、水上オートバイ等をいう  
 ※2:「ミニボート」とは、船体の長さが 3m 未満、推進器の出力が 1.5KW(2.039 馬力)未満の船舶をいう(小型船舶操縦士の免許や小型船舶検査・登録が不要)  
 ※3:「マリッジジャーに伴う海浜事故」とは、遊泳中の事故や釣り中の事故等、船舶に乗船しないで活動した際に発生した事故をいう。他にマリッジジャー以外の海浜事故、船舶乗船中の事故に分類している。

**【参考】**

**過去 5 年間における船舶海難及び人身海難の推移**

※ 平成 30 年から民間救助組織による救助隻数を含む(括弧内は、民間救助組織の内数)

		H29	H30	R1	R2	R3	R4
船舶	海難隻数(隻)	205	173(27)	142(18)	171(25)	181(28)	169(29)
	死者・行方不明者(人)	0	2	3	7	4	0
人身	海難者数(人)	198	186	204	155	170	175
	死者・行方不明者(人)	82	63	60	49	52	57

R4 の値は 12 月 18 日現在の数値であり、今後変動する可能性があります

**3 降雪期における安全対策について**

第八管区海上保安本部管内である鳥根県から福井県の沿岸部では、12 月から 2 月にかけて降雪による小型船舶の転覆、浸水等の事故が発生しやすい時期となります。

管区本部及び各保安部署では、海事関係者への積雪による事故防止を継続的に働きかけるとともに、一般の小型船所有者に向けた SNS での注意喚起(別添参照)なども行い、冬季における降雪による海難事故の防止に向けて活動を行っております。

(過去事例)

平成 22 年 12 月 31 日夜間から翌 1 月 1 日まで鳥根県を中心に降り続いた雪は、積雪 70 センチメートルに達し、係留中の漁船(19 トン)など 353 隻が転覆、浸水などの被害を受けた。

平成 29 年 2 月 10 日から翌 11 日まで鳥根県鳥根市から福井県小浜市に至る地域で降り続いた雪は、積雪 70 センチメートルに達し、係留中の漁船など 69 隻が転覆、浸水などの被害を受けた。



平成 29 年 2 月鳥根県降雪被害

**【参考】**

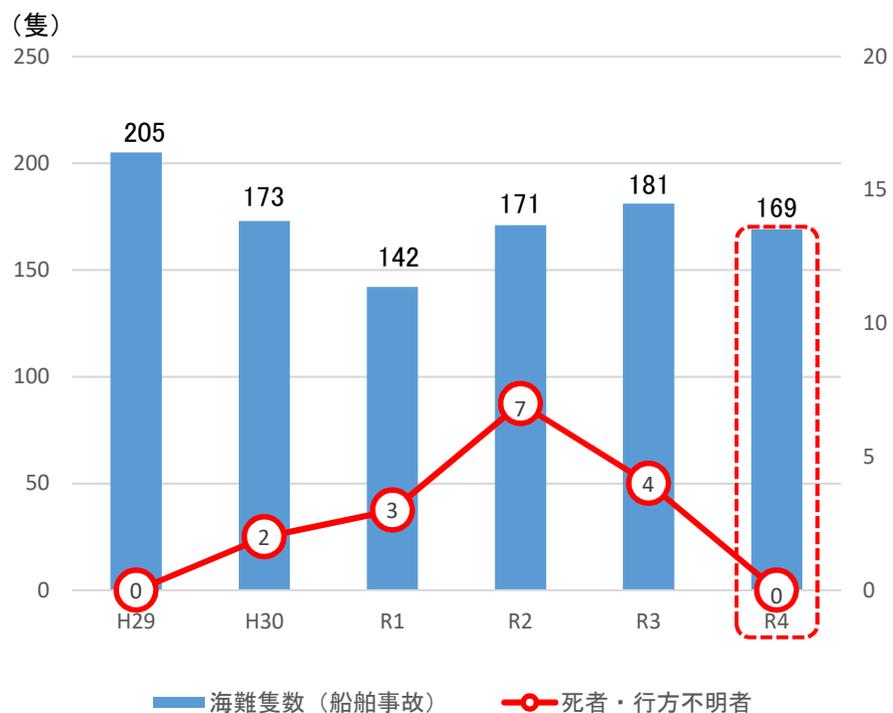
**過去 5 年間における降雪による被害の推移 (R4 は 1、2 月分のみ記載)**

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
転覆・浸水	71	2	0	0	6	1

# 船舶海難発生状況(年別、船種別の推移)

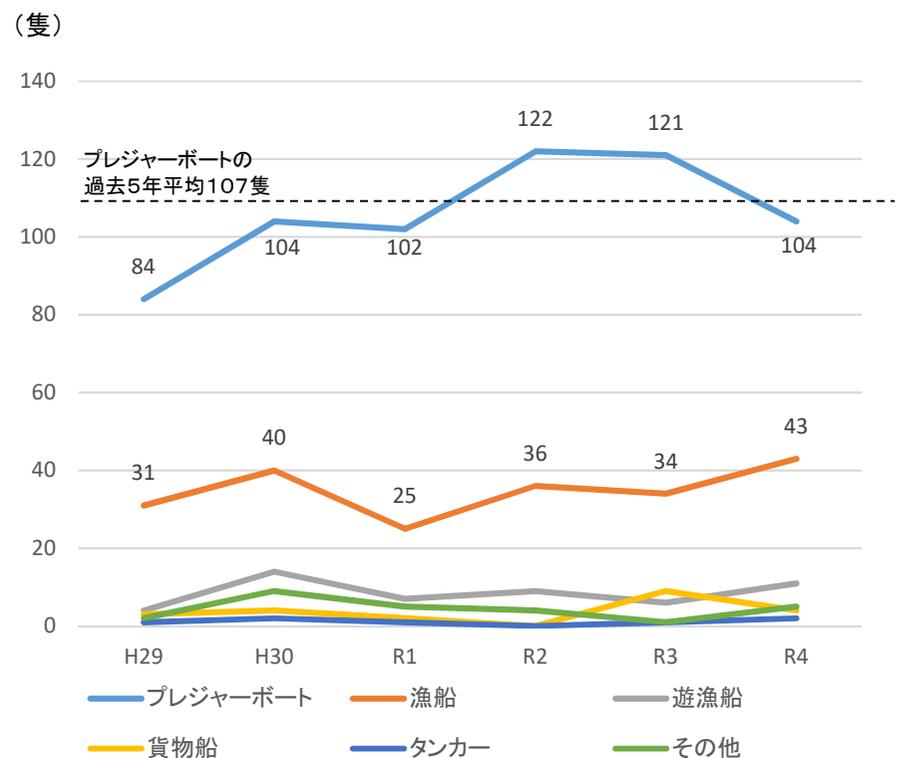
- 船舶海難は169隻(うち民間救助組織による救助隻数29隻)であった。
- 船舶海難に伴う死者・行方不明者は0名であった。
- 船種別では、プレジャーボートが最も多く(約6割)、2年ぶりに平均値(過去5年の平均107隻)を下回った。

海難隻数と死者・行方不明者の推移【表1-1】



令和4年の値は、  
12月18日現在の速報値

船種別海難隻数の推移【表1-2】

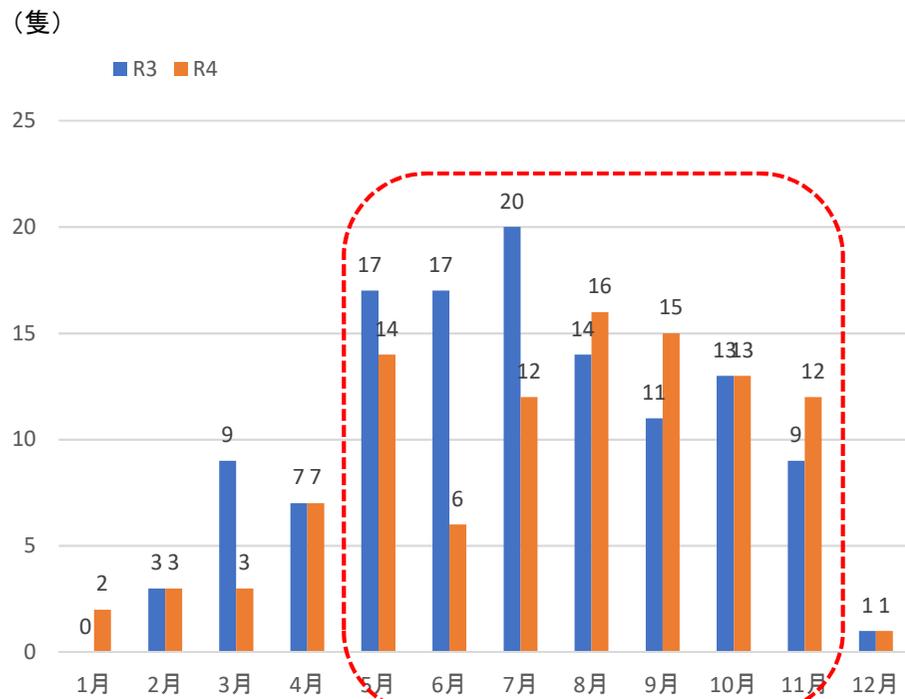


令和4年の値は、  
12月18日現在の速報値

# 船舶海難発生状況(プレジャーボート月別推移、事故種類別内数)

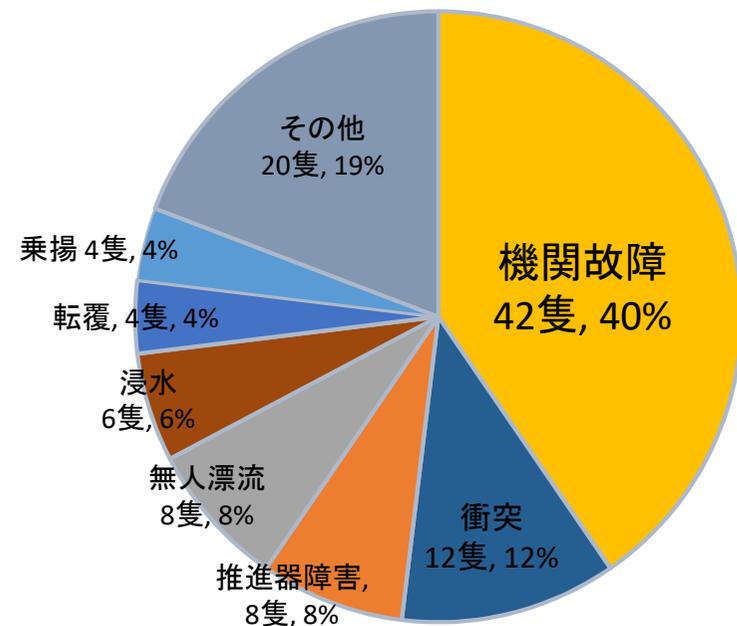
- プレジャーボートによる海難の月別発生状況では、5月～11月に多く発生している。
- プレジャーボートによる海難の事故種類別では、機関故障が最も多く、次いで衝突、推進器障害の順となっている。

前年比(プレジャーボート月別海難発生状況)【表1-3】



令和4年の値は、  
12月18日現在の速報値

事故種類別(R4プレジャーボート内訳)【表1-4】

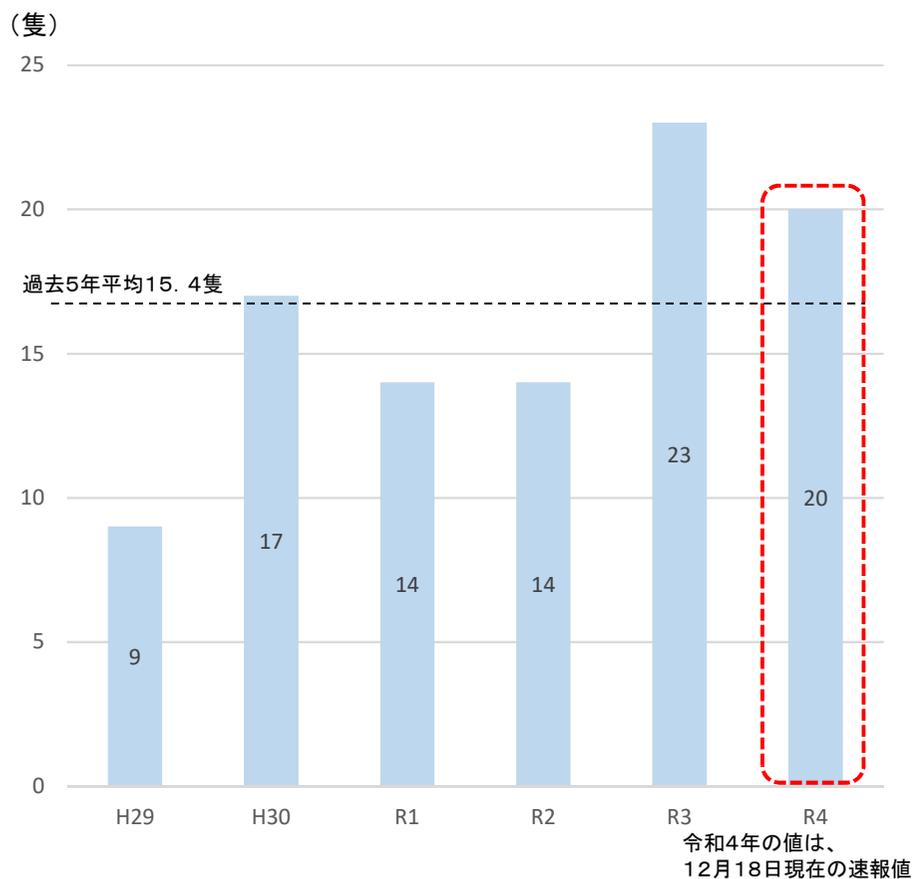


令和4年の値は、  
12月18日現在の速報値

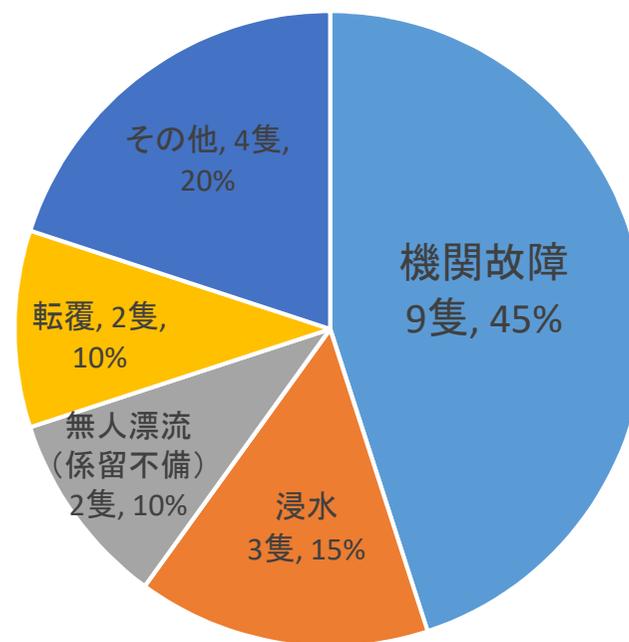
# ミニボート海難発生状況（年別推移、事故種類別内数）

- ミニボートによる海難隻数は20隻で、前年比で3隻減少しているものの、過去5年（平均15.4隻）より多く発生している。
- ミニボートの海難の原因で多いのは機関故障である。

ミニボート海難隻数の推移【表1-5】



事故種類別（R4ミニボート内訳）【表1-6】

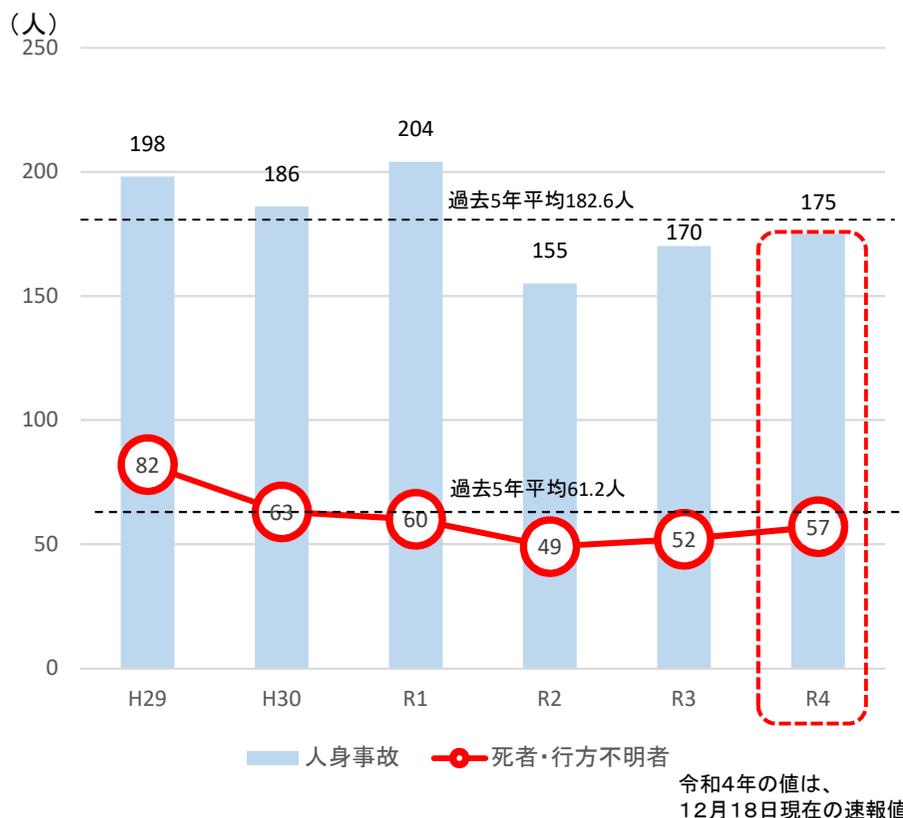


令和4年の値は、12月18日現在の速報値

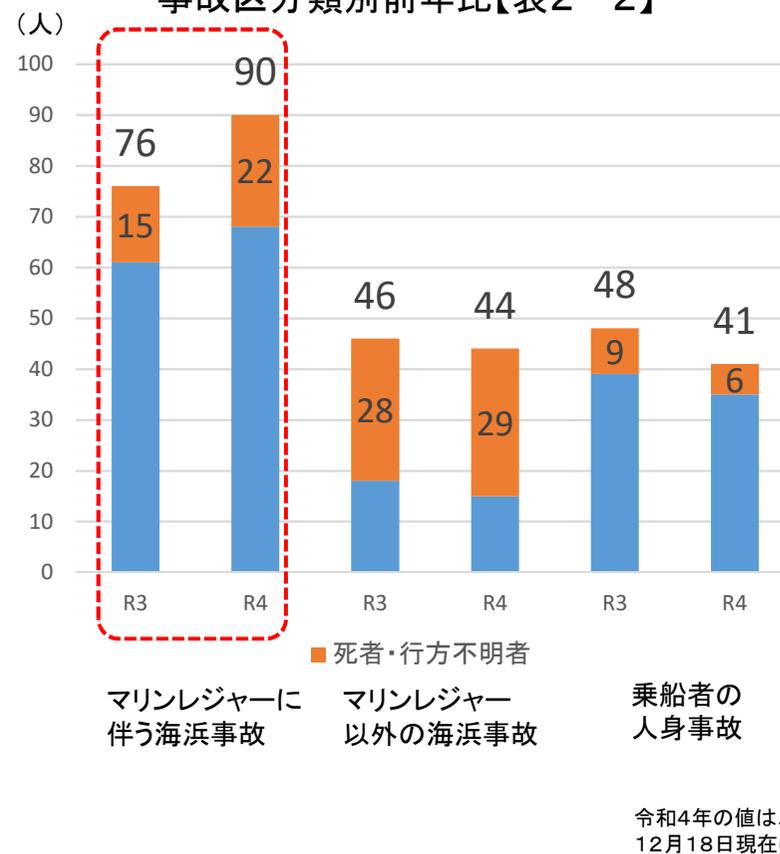
# 人身海難発生状況(年別推移、事故区分別比較)

- 人身海難は175人であり、前年比5人増、過去5年間の平均(182.6人)よりは少ないがコロナ禍(令和2年以降)では最多であった。
- 死者・行方不明者数は、前年比で5人増、過去5年間の平均(61.2人)より低い状況となったがコロナ禍(令和2年以降)では最多であった。
- 令和4年に発生した人身海難は、マリンレジャーに伴う海浜事故が最も多く前年比14人増(死者7人増)であった。

人身海難人数と死者・行方不明者数の推移【表2-1】



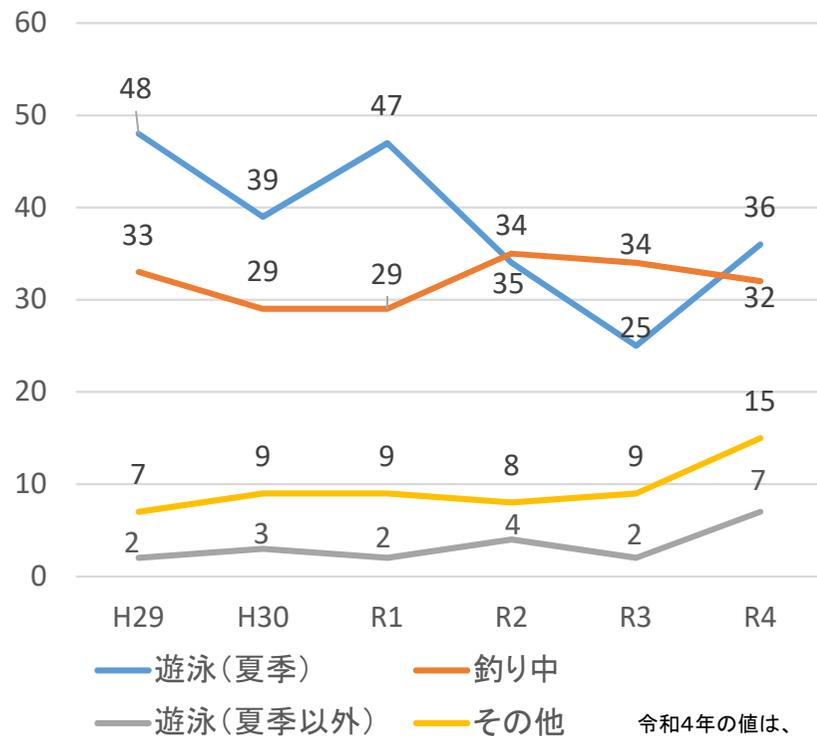
事故区分別前年比【表2-2】



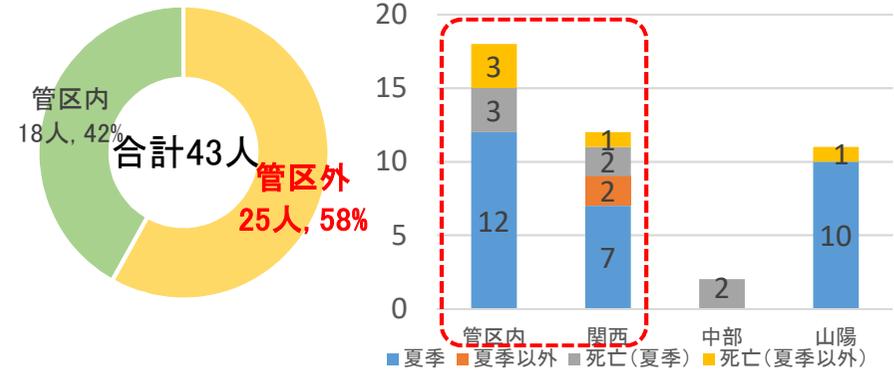
# 人身海難発生状況(種類別、居住地域別の推移)

- マリンレジャーに伴う海浜事故の内訳は、遊泳中43人(死者12人)、釣り中32人(死者10人)及びその他15人(死者0人)であった。
- マリンレジャーに伴う海浜事故のうち夏季(7, 8月)の遊泳中事故は36人(前年比11人増)死者7人(前年比3人増)であった。
- 釣り中の事故は32人(前年比2人減)死者行方不明者10人(前年比2人増)であった。
- 遊泳中の事故者は約6割が管区外居住者によるものであり、関西地方(大阪、兵庫、奈良、京都府南部)から若狭地方へ、山陽地方(広島、岡山)から山陰地方への来訪者による事故が多かった。釣りは、管区内居住者が多く、全体の6割を占めた。

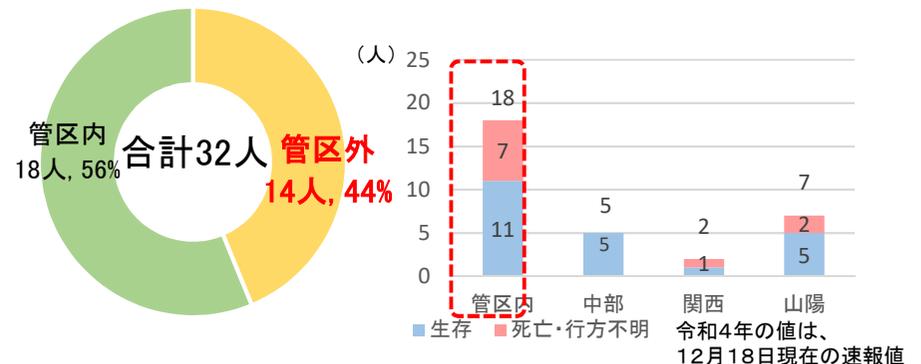
(人) マリンレジャーに伴う海浜事故の推移【表2-3】



遊泳中事故者居住地別発生状況(R4内訳)【表2-4】



釣り中事故者居住地別発生状況(R4内訳)

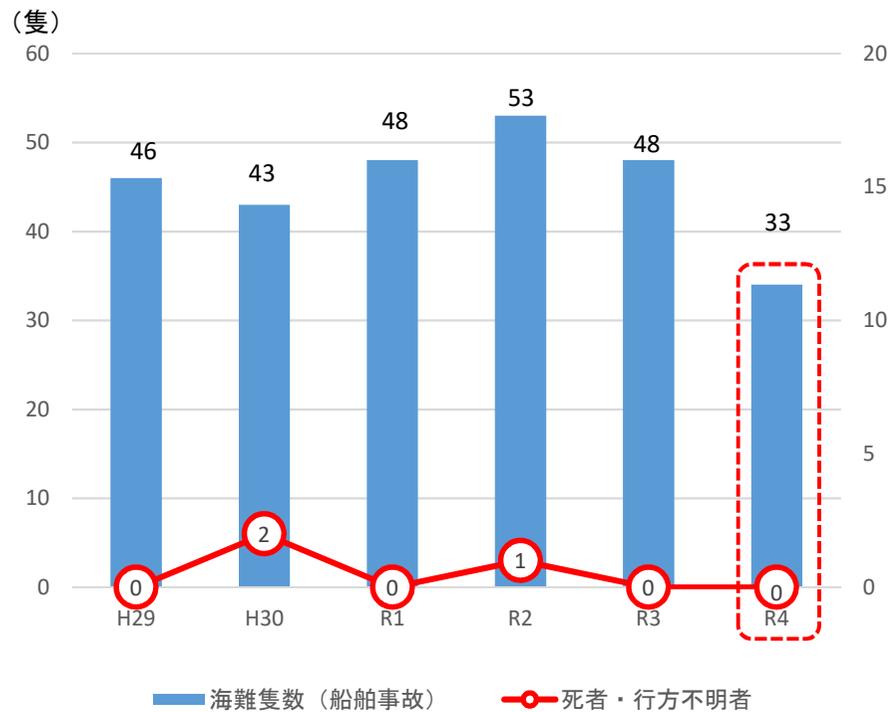


# 船舶海難発生状況(年別、種類別の推移)

京都府版

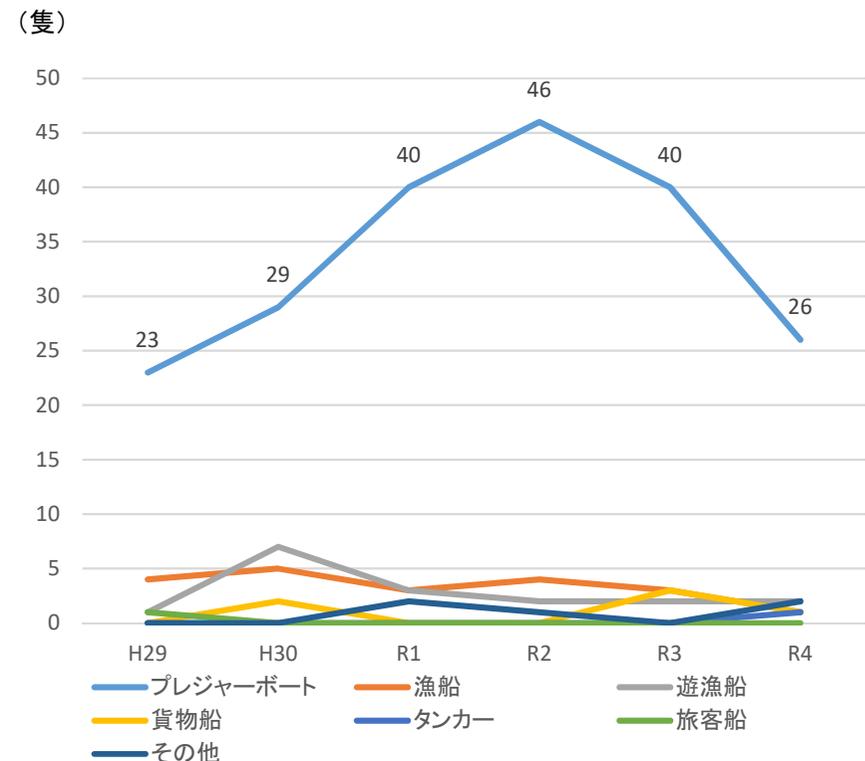
- 船舶海難は33隻(うち民間救助組織による救助隻数13隻)であった。
- 船舶海難に伴う死者・行方不明者の発生はなかった。
- 船種別では、プレジャーボートが最も多く(約7割)なっている。

海難隻数と死者・行方不明者の推移【表3-1】



令和4年の値は、  
12月18日現在の速報値

船種別海難隻数の推移【表3-2】



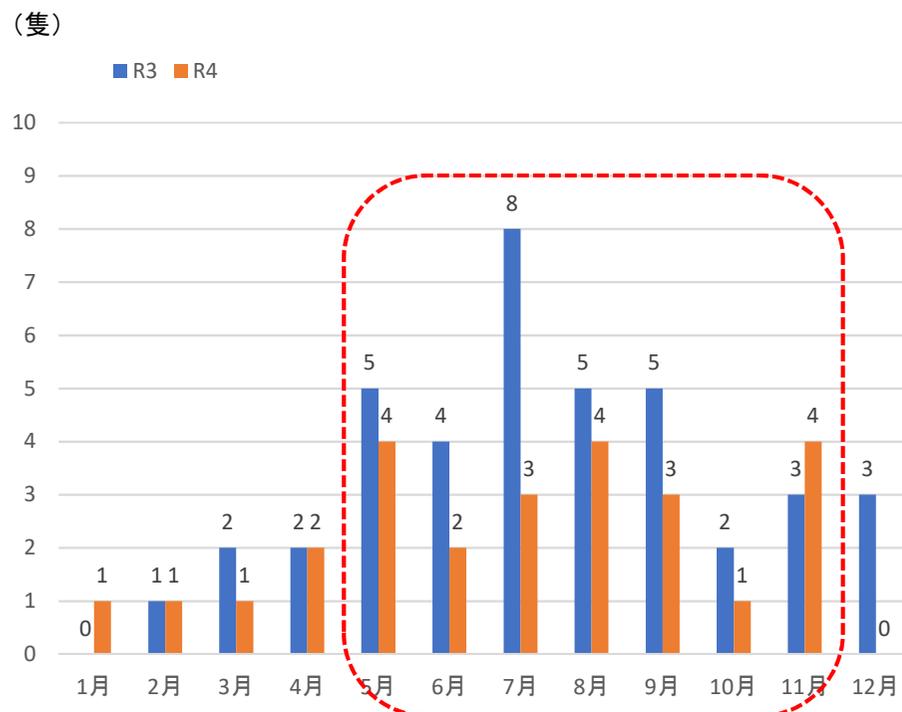
令和4年の値は、  
12月18日現在の速報値

# 船舶海難発生状況(プレジャーボート月別、事故種別)

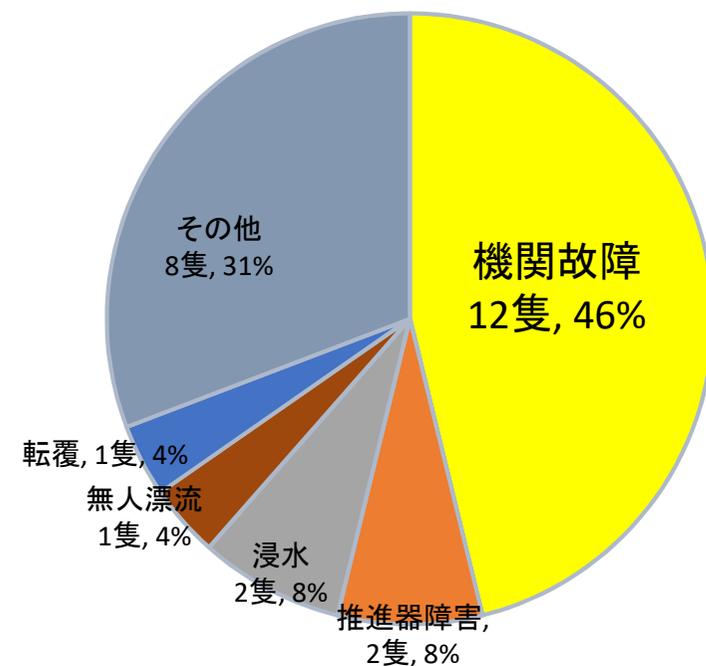
京都府版

- プレジャーボートによる海難の月別発生状況では、5月～11月に多く発生している。
- プレジャーボートによる海難の事故種別では、機関故障が最も多く、次いで推進器障害、浸水の順となっている。
- 京都府でのミニボート海難は3隻(前年比1隻減)で事故種別は、機関故障、浸水、転覆であった。

前年比(プレジャーボート月別海難発生状況)【表1-3】



事故種別(R4プレジャーボート内訳)【表1-4】

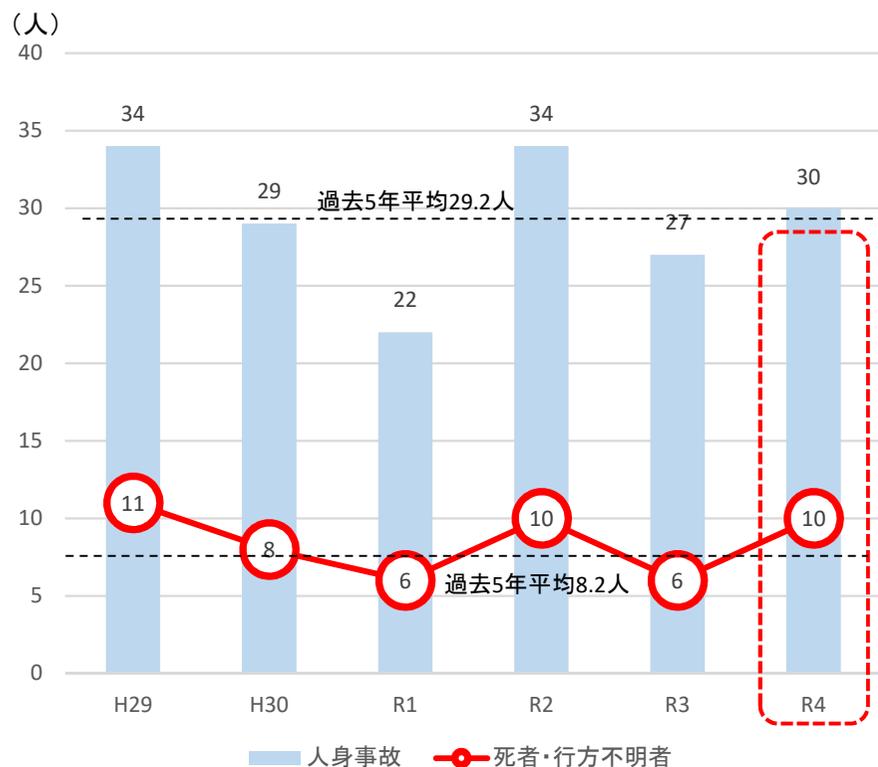


# 人身海難発生状況(年別、事故区分別の内数)

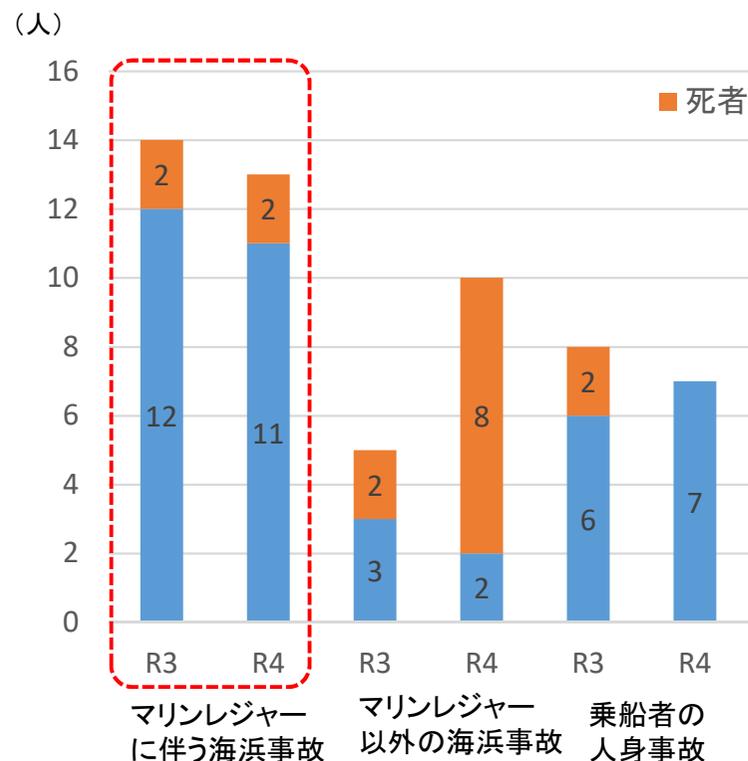
京都府版

- 人身海難は30人(死者10人)であり、前年比3人増(死者4人増)、過去5年間の平均(29.2人)より多い。
- 死者行方不明者数は、前年比で4人増、過去5年間の平均(8.2人)より多く、コロナ禍以降(令和2年以降)ではR2年と並び最多となった。
- 令和4年中に発生した人身海難は、マリンレジャーに伴う海浜事故が最も多い。

人身海難人数と死者・行方不明者数の推移【表2-1】



事故区分別(R3,4内訳)【表2-2】

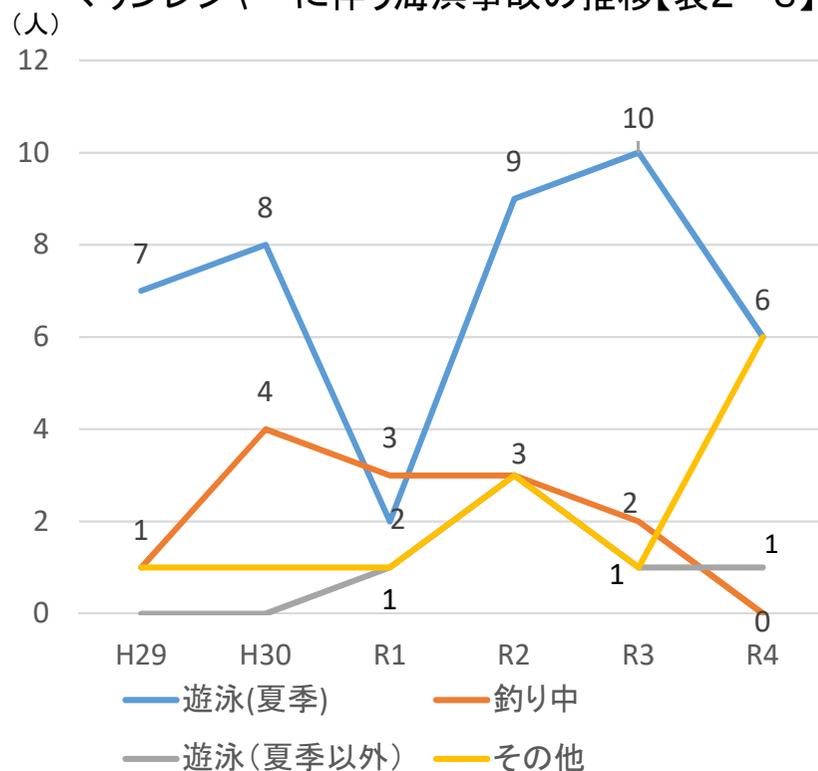


# 人身海難発生状況(年別発生状況、遊泳者居住地別内数)

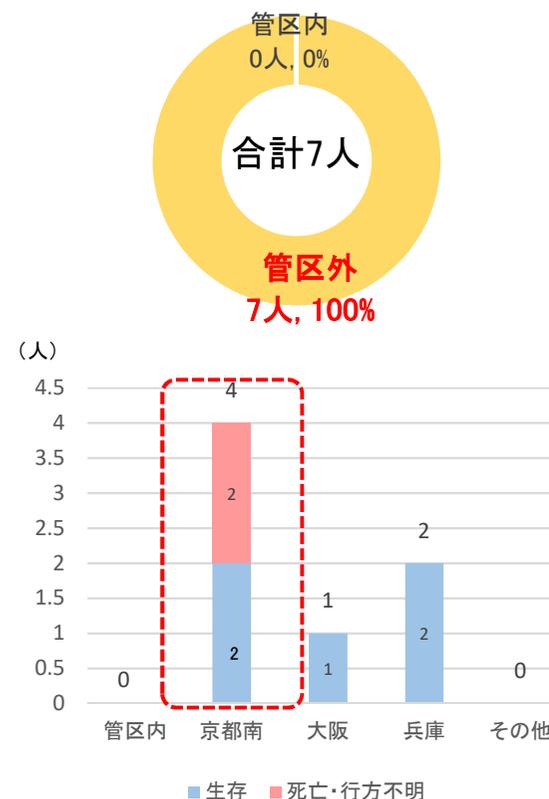
京都府版

- マリンレジャーに伴う海浜事故のうち、大きな割合を占めるのが遊泳中7人(死者2人)の事故であった。
- マリンレジャーに伴う海浜事故のうち遊泳中の事故は前年比で4人減少(死者同数)した。また、釣り中の事故は発生しなかった(前年比2人減)。
- 令和4年の遊泳中の事故は全員が管区外居住者によるものであり、関西地方(大阪、兵庫、京都府南部)から京都府北部への来訪による事故であった。

マリンレジャーに伴う海浜事故の推移【表2-3】



遊泳中事故者居住地別発生状況(R4内訳)【表2-4】



# Water Safety Guide



遊べているでしょうか？

安全に

あなたは今、



海で安全に遊ぶための知識

ウォーターセーフティガイド

検索



海上保安庁  
JAPAN COAST GUARD

# Water Safety Guide



## 水上オートバイ

危険な操縦が原因による他の船舶や遊泳者などへの衝突・死亡事故が発生しています。

### ▲ 事故防止4つのポイント ▲

- ① 遊泳者等の近くで危険な操縦をしない
- ② 同乗者を振り落としたりトローリング遊具を振り回すなど危険行為をしない
- ③ 適切な装備を着用する
- ④ 復原の方法や注意事項などを確認する



## 遊 泳

管理されていない海域での遊泳や飲酒が原因による溺水・漂流事故が発生しています。

### ▲ 事故防止4つのポイント ▲

- ① ライフセーバーや監視員がいる管理された海水浴場で泳ぎましょう!
- ② 保護者は常に子どもから目を離さない
- ③ お酒を飲んだら泳がない
- ④ 波の高い日や風の強い日は泳がない



## カヌー

気象・海象情報の収集不足や技能・経験不足による遭難が発生しています。

### ▲ 事故防止4つのポイント ▲

- ① 気象・海象の確認
- ② 海に出る前に沈脱やロールなど、転覆した際に必要な基本技術を身に付ける
- ③ 単独での行動は控え、複数のカヌーで行動する
- ④ ライフジャケットを着用する



## SUP スタンドアップパドルボード

気象・海象情報の収集不足や技能・経験不足による遭難が発生しています。

### ▲ 事故防止4つのポイント ▲

- ① 気象・海象の確認
- ② 海に出る前にSUPに必要な基本技術を身に付ける
- ③ 単独での行動は控え、複数で行動する
- ④ ライフジャケットを着用する



## ミニボート

気象・海象情報の収集不足や自船の性能を把握していないことによる遭難が発生しています。

### ▲ 事故防止4つのポイント ▲

- ① 船のバランスに注意し、船内では立ち上がらない
- ② 波が低い場合(波高20cm以下)や風が弱い場合(風速4m/s以下)に出航する
- ③ 性能や故障時のことも考え、オールで帰れる範囲で行動する(岸から1km以内)
- ④ ライフジャケットを着用する



## 釣 り

岸壁や防波堤などからの海中転落事故が発生しています。

### ▲ 事故防止4つのポイント ▲

- ① 天気予報や体調を考慮し、決して無理をしない
- ② 釣行計画を第三者に伝え、単独行動をしない
- ③ 立入禁止区域内に入らない
- ④ ライフジャケットを着用する

# 雪は大敵!!

八管安全ダイジェスト Vol.10



## 降雪前に対策を!

早目の陸揚げ!



シートで覆う!



天気予報を確認し、早めに対策しましょう。また、除雪作業時は「救命胴衣」を着用して「複数名」で安全を優先して行いましょう!

船尾の2点係留!



重量物は外す!



第八管区海上保安本部

問い合わせ先

交通部安全対策課

TEL0773-76-4100 (代表)



問合せ先：第八管区海上保安本部  
広報・地域連携室 今出・松田・堀  
TEL 0773-76-4100  
(内線 2111・2117・2118)

令和4年12月22日  
第八管区海上保安本部

ひやくじゅうはち  
1月18日は「118番の日」です

～118番は海上保安庁の緊急通報用電話番号です～

海上保安庁では、平成23年から毎年1月18日を「118番の日」とし、118番の重要性を多くの方々に理解していただくため、全国で周知活動を行っています。

「118番の日」は令和5年で13回目を迎えますが、多くの通報が無言電話やいたずら電話などであり、118番通報について適正な利用が十分に浸透しているとは未だ言えない状況です。

第八管区海上保安本部では、緊急通報用電話番号「118番」の適正な利用を目指して引き続き周知活動を行ってまいります。

## 1 緊急通報用電話番号「118番」について

### (1) 118番とは

海上保安庁緊急通報用電話番号「118番」は、海難や海上犯罪等の緊急通報用電話番号として、平成12年5月1日から導入されたものです。

### (2) 118番通報位置の把握について

海上保安庁では平成19年4月から、「緊急通報位置情報通知システム」を運用しています。これは携帯電話等から118番通報がなされると、通報者の概略の位置が判明するものです。これにより、携帯電話等からの通報により通報者の位置を迅速に把握することができます。

なお、118番通報が公衆電話で行われた場合は、「緊急位置情報通知システム」は機能しません。

### (3) NET118について

聴覚や発話に障がいを持つ方を対象に、スマートフォンなどを使用した入力操作により、緊急時の海上保安庁への通報が可能となる「NET118」というサービスを令和元年11月1日から運用開始しています。

## 2 八管区における 118 番通報の活用事例

### (1) 118 番通報を活用してエンジンの復旧を助言した事例

令和 4 年 11 月 7 日午後 3 時 20 分頃、島根県沖で釣りを行っていた小型船舶の乗船者から「エンジンがかからなくなった」旨の 118 番通報がありました。八管本部は直ちに現場に巡視艇を急行させるとともに、当該通報を受理した海上保安官が、当該通話でエンジンのトラブルシューティングを行ない、燃料ホースの差し込みの不具合であることが原因と判明、乗員によりこれを復旧し無事にマリーナに帰港しました。

### (2) 「緊急通報位置情報通知システム」を活用した事例

令和 4 年 10 月 1 日午後零時 13 分頃、福井県沖においてミニボートの乗船者から「エンジンの調子が悪く、帰還できない」旨の 118 番通報がありました。八管本部は、「緊急通報位置情報通知システム」により把握した通報位置へ直ちに警備救難艇を出動させ当該位置付近でボートを発見し、無事に救助しました。



警備救難艇による救助時の状況

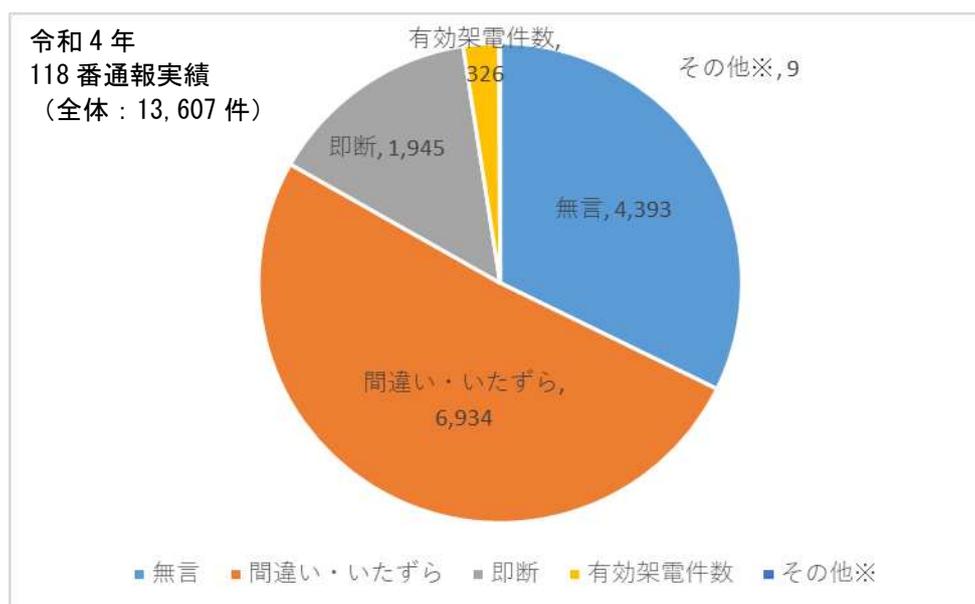
## 3 八管区における「118 番」年間通報件数の実績

令和 4 年（1/1～12/15, 速報値）における年間通報件数は、13,607 件であり、その内、有効架電件数は全体の約 2.4%となる 326 件でした。他方、非有効架電件数は、全体の約 97.6%となる 13,281 件です。

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R4(※2)
通報総件数	16708	20563	17053	19901	18178	18965	21048	18038	15655	14643	13607
有効架電件数(※1)	282	289	297	296	321	356	299	305	335	367	326

(※1) 有効架電件数：無言電話や間違い電話等の有効でない通報を除いた件数

(※2) R4. 1. 1～R4. 12. 15 の件数（速報値）



※その他  
苦情電話・海保業務問合せ等

聴覚や発話に障がいのある方へ



海での事件・事故に関する緊急時の通報は『NET118』をご利用ください。

緊急時の通報

海での事件や事故



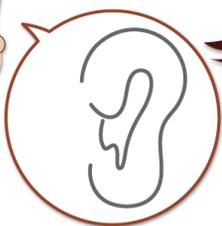
通報

出動

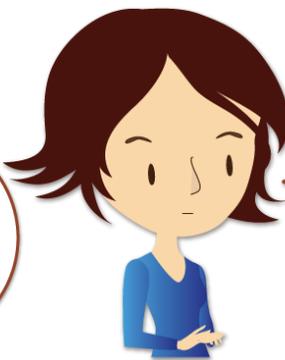
NET118は、聴覚や発話に障がいのある方のためのインターネットを使用した緊急時の通報サービスです。

携帯電話・スマートフォンを使い、素早く海上保安庁に通報することができます。

ご利用できる方



聴覚に障がいを持つ方



発話に障がいを持つ方

費用：無料

携帯・スマートフォンの通信料が別途必要です。

# NET118の利用案内

本サービスは「事前登録制」のサービスです。  
以下の登録方法により、あらかじめ登録してください。

利用者  
登録が  
必要！



こちらのコードを読み取る もしくは、  
entry@net118.jpを直接あて先に入力し、空メールを送信  
登録用メールが返ってくるので、案内される手順に従い登録

## よくある質問

Q1 誰が利用できますか？

A 聴覚や発話に障がいがあり、音声による通報が困難な方が利用できます。

Q2 お金はかかりますか？

A 携帯電話・スマートフォンの通信料をご負担ください。  
その他の費用はかかりません。

Q3 どんな携帯電話・スマートフォンでも通報可能ですか？

A ドコモやauやソフトバンクなど、国内の通信事業者が提供する携帯電話・スマートフォンで通報することができますが、利用する端末でインターネットやEメールが使用できる必要があります。

Q4 どのように通報しますか？

A 通報は画面上に表示される案内にしたがって操作します。  
練習モードがありますので、緊急時に備えて練習モードで通報方法の確認を行ってください。

(登録等システムに関するお問い合わせ先) ※受付は平日午前9時から午後6時までとなります。

海上保安庁警備救難部 管理課

電話：03-3591-6361 (内線：5160、5161)

メール(共通)：jcg-net118@mlit.go.jp

(その他のお問い合わせ先)

海上保安庁警備救難部 救難課

電話：03-3591-6361 (内線：5910、5911)

メール(共通)：jcg-net118@mlit.go.jp

※セキュリティの関係により、添付ファイルがある問い合わせメールには対応できません。



海上保安庁  
JAPAN COAST GUARD



海上保安庁

海の「事件・事故」は

118番

「118番」は海上保安庁  
緊急通報用電話番号です。







**【問合せ先】**

第八管区海上保安本部  
 広報・地域連携室 今出・松田・道前  
 TEL 0773-76-4100

令和4年12月22日  
 第八管区海上保安本部

**令和4年「八管トピックスTOP10」決定！**

～アンケートにご協力いただきありがとうございました～

第八管区海上保安本部では、この一年間に管内で起きた主な出来事（八管トピックス）の中から印象に残っているものについて、一般の皆様及び管内職員を対象にアンケート調査を行った結果、次の上位10項目が『八管トピックスTOP10』に決定しましたので、お知らせいたします。

令和4年「八管トピックスTOP10」（総合結果）

順位	トピックス	得票数
1	八管区初の女性船長誕生！	259
2	隠岐諸島沖合で5万トン貨物船が機関故障し陸岸約800メートルまで接近	256
3	福井県豪雨災害で山間部孤立者をヘリコプターで救助	183
4	隠岐諸島沖合で12名乗りの漁船が火災、船体沈没も乗組員は無事	168
5	島根美保関灯台と出雲日御碕灯台が国の重要文化財に指定	150
6	冬の日本海で釣り人2名が高波にさらわれ、ヘリコプターで救助	137
7	竹島沖合 EEZ で5年ぶり韓国海洋調査船に中止要求	133
8	高浜原子力発電所への MOX 燃料輸送にかかる海上警備	129
9	城崎マリンワールドで機動救難士とイルカのコラボショーによる海難防止を呼びかけ	128
10	福井県の海水浴場でイルカに噛まれる被害が相次ぎ注意喚起を実施	123

- ・ アンケート回答者数658名（一般79名、職員579名）
- ・ 期間 令和4年12月1日（水）～12月11日（日）

【回答者別アンケート結果】

令和4年「八管トピックスTOP10」(一般結果)

順位	トピックス	得票数
1	八管区初の女性船長誕生！	45
2	コロナ禍で自粛していたイベント・訓練を各地で再開	39
3	竹島沖合 EEZ で5年ぶり韓国海洋調査船に中止要求	32
4	島根美保関灯台と出雲日御崎灯台が国の重要文化財に指定	30
5	転覆したプレジャーボート乗員3名を巡視船えちぜん潜水士が飛び込み救助	27
6	福井豪雨災害で山間部孤立者をヘリコプターで救助	24
6	福井県の海水浴場でイルカに噛まれる被害が相次ぎ注意喚起を実施	24
8	城崎マリンワールドで機動救難士とイルカのコラボショーによる海難防止呼びかけ	23
9	隠岐諸島沖合で5万トン貨物船が機関故障し陸岸約800メートルまで接近	22
10	2年ぶりに新人機動救難士配属、厳しい訓練研修で最前線へ	21
10	機動救難士による急患搬送件数が過去最多	21

(得票数が同数の場合は、発生/実施日時順としています。)

令和4年「八管トピックスTOP10」(職員結果)

順位	トピックス	得票数
1	隠岐諸島沖合で5万トン貨物船が機関故障し陸岸約800メートルまで接近	234
2	八管区初の女性船長誕生！	214
3	福井豪雨災害で山間部孤立者をヘリコプターで救助	159
4	隠岐諸島沖合で12名乗りの漁船が火災、船体沈没も乗組員は無事	149
5	島根美保関灯台と出雲日御崎灯台が国の重要文化財に指定	120
6	高浜原子力発電所へのMOX燃料輸送にかかる海上警備	119
6	冬の日本海で釣り人2名が高波にされわれ、ヘリコプターで救助	119
8	隠岐諸島からの急患搬送累計600人到達	113
9	城崎マリンワールドで機動救難士とイルカのコラボショーによる海難防止呼びかけ	105
10	ご当地アイドルグループ「Precious」を浜田海上保安部アンバサダーに認定	103

(得票数が同数の場合は、発生/実施日時順としています。)

# 令和4年「八管トピックスTOP10」

八管トピックスTOP10が決まりました！アンケートにご協力いただきありがとうございました。

## 1位 八管区初の女性船長誕生！

令和4年4月、第八管区海上保安本部において初となる巡視艇の女性船長が誕生しました。乗組員と力を合わせ、山陰の海を守ります。



## 2位 隠岐諸島沖合で5万トン貨物船が機関故障し陸岸約800メートルまで接近

令和4年2月1日、島根県隠岐諸島沖合を航行中の貨物船(総トン数54,809トン、キプロス船籍)から、機関故障のため緊入域したい旨の通報がありました。荒天下、巡視船及び航空機を発動させるとともに、航行不可能となった貨物船船長に対し投錨を指示、同船は風浪により陸岸約800メートルまで接近しましたが、座礁を回避しました。



## 3位 福井豪雨災害で山間部孤立者をヘリコプターで救助

令和4年8月5日、北陸地方では、折からの大雨による洪水が発生、福井県から南越前町の山間部に孤立している高齢者を含む2名の救助要請がありました。当庁ヘリコプターの飛行時間も限られ、現地との通信手段も途絶する中、ヘリコプターから降下した機動救難士が要救助者を捜索のうえ、ヘリコプターを当該場所まで誘導、無事、2名の吊上げ救助を完了しました。



## 4位 隠岐諸島沖合で12名乗りの漁船が火災、船体沈没も乗組員は無事

令和4年10月17日、島根県の隠岐諸島沖合約24kmにおいて、日本漁船(総トン数19トン、12名乗組み)から火災が発生しました。巡視船による消火活動を実施、その後漁船は沈没しましたが、乗組員は全員僚船に避難し無事でした。



## 5位 島根美保関灯台と出雲日御碕灯台が国の重要文化財に指定

令和4年2月9日、境海上保安部管内の美保関灯台及び出雲日御碕灯台が、国の重要文化財に指定されました。両灯台とも建設された明治期から山陰沿岸の船舶交通の安全を守り続けていることに加え、今もなお当時の姿のまま現役で活躍している灯台です。



## 6位 冬の日本海で釣り人2名が高波にさらわれ、ヘリコプターで救助

令和4年1月4日、島根県鎌手海岸付近の磯で釣り人2名が高波にさらわれ1名は沖へ流され、もう1名は自力で岩場へ上がりましたが身動きが取れなくなりました。捜索により2名を発見、当庁ヘリコプターにより全員吊上げ救助を行い病院へ搬送、命に別状はありませんでした。



## 7位 竹島沖合EEZで5年ぶり韓国海洋調査船に中止要求

令和4年5月29日、竹島周辺の我が国EEZにおいて調査活動を行う韓国海洋調査船「HAE YANG2000」に対し、巡視船が「我が国の同意を得ない調査活動は認められない」旨の中止要求を行いました。竹島周辺海域における韓国海洋調査船に対する中止要求は、平成29年以来5年ぶりです。(同年8月18日にも「HAE YANG2000」に対して中止要求を行っています。)



## 8位 高浜原子力発電所へのMOX燃料輸送にかかる海上警備

令和3年11月、海外で使用済み核燃料を再処理して作られたMOX燃料の高浜原子力発電所への返還輸送が行われ、第八管区海上保安本部では輸送に伴うテロ等を未然に防ぐための海上警備を行いました。



## 9位 城崎マリンワールドで機動救難士とイルカのコラボショーによる海難防止を呼びかけ

令和4年7月16日、兵庫県豊岡市の水族館「城崎マリンワールド」において、機動救難士とイルカ等海の仲間たちのコラボショーによる海難事故防止の呼びかけが行われました。イルカが溺れた人を救助し、それを上空から降下した機動救難士に引継ぐというショーを通じて、家族を含むたくさんの観客に対し海難防止をPRすることができました。



## 10位 福井県の海水浴場でイルカに噛まれる被害が相次ぎ注意喚起を実施

令和4年7～8月、福井県の海水浴場において海水浴客がイルカに噛まれて怪我をする情報が多数寄せられたことから、敦賀海上保安部では、Twitter・海の安全情報により注意喚起を行い、被害防止を呼びかけました。





**【問合せ先】**

海上保安学校

総務課長 水本 秀樹

TEL/FAX 0773-62-3520



令和4年12月22日

海上保安学校

**海上保安学校学生採用試験結果(速報)について**

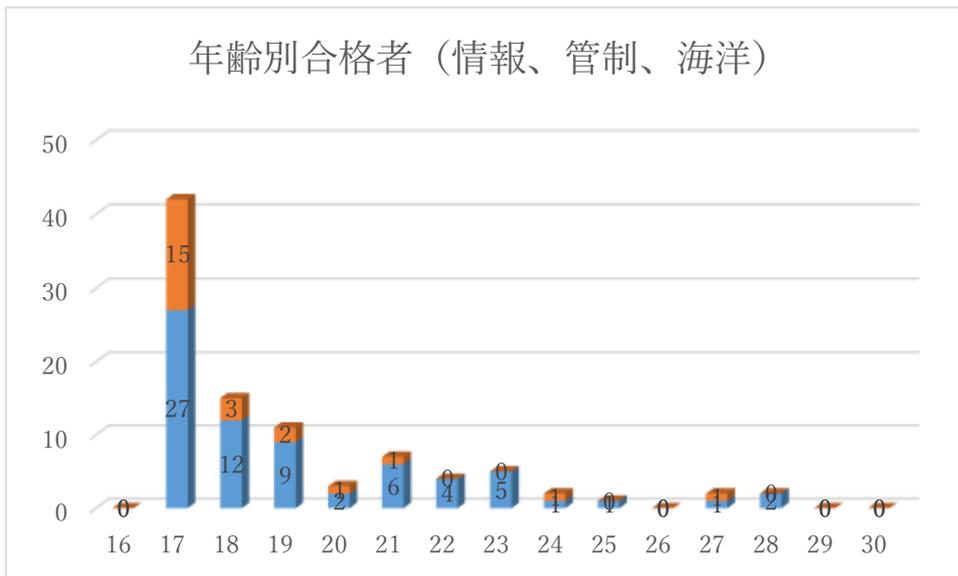
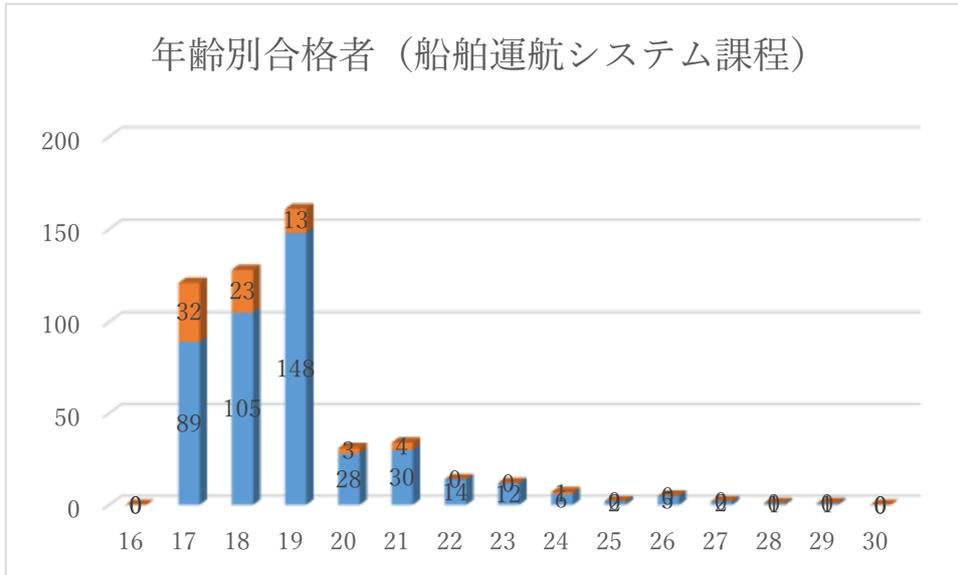
海上保安庁では、2022年度海上保安学校学生採用試験を実施し、令和4年11月22日(火)に航空課程を除く全ての課程で合格発表が行われました。

## 1 令和4年度における申込者

試験区分	申込者	合格者	倍率
船舶運航システム課程	2,977(501)	519(76)	5.74
情報システム課程	143(36)	50(13)	2.86
管制課程	105(42)	24(7)	4.38
海洋科学課程	79(19)	20(4)	3.95

## 1-2 令和4年度における合格者の年齢別内訳

試験区分	10代後半	20代前半	20代後半	30代
船舶運航システム課程	410(68)	98(8)	11(0)	0(0)
情報システム課程	44(13)	5(0)	1(0)	0(0)
管制課程	17(5)	6(2)	1(0)	0(0)
海洋科学課程	7(2)	10(1)	3(1)	0(0)

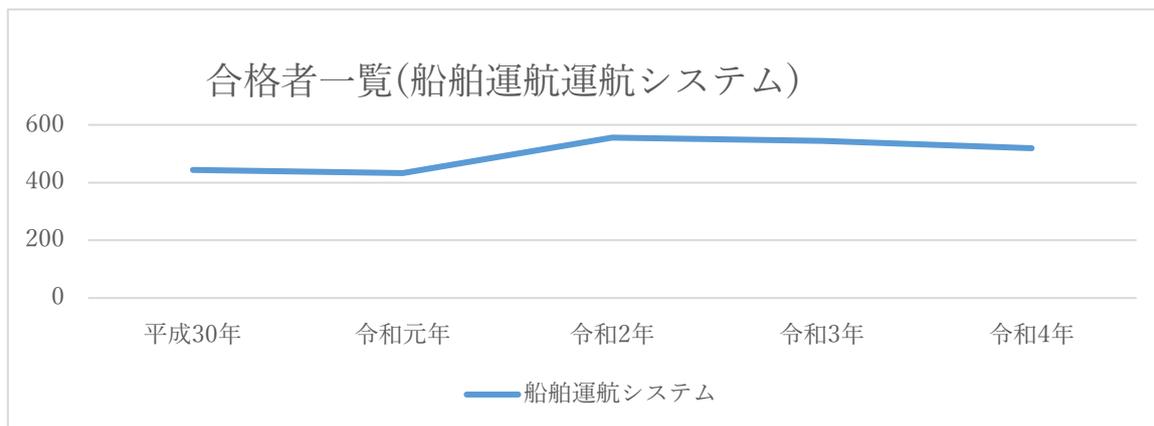
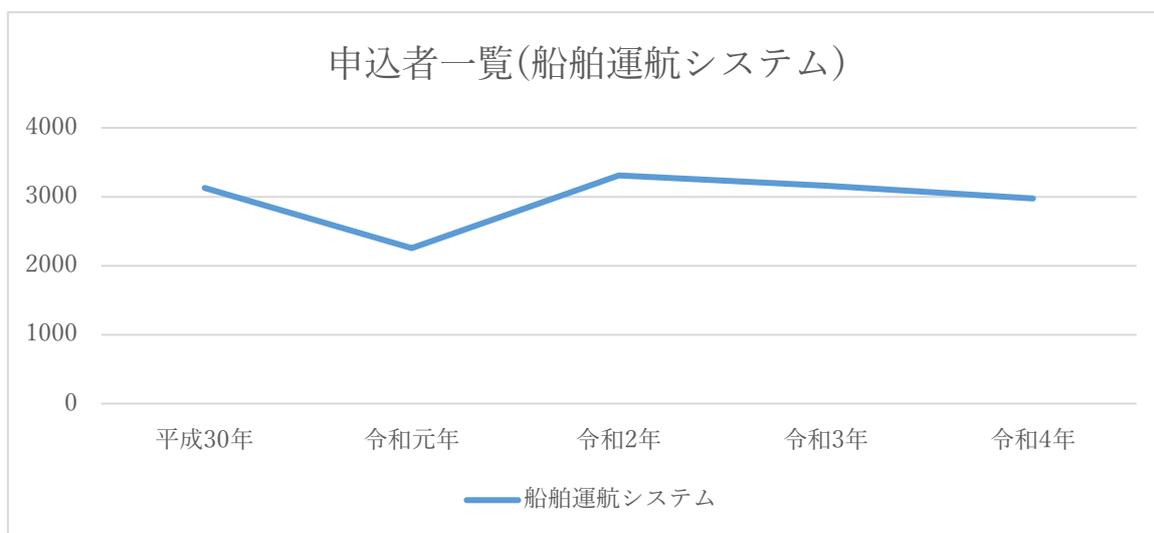


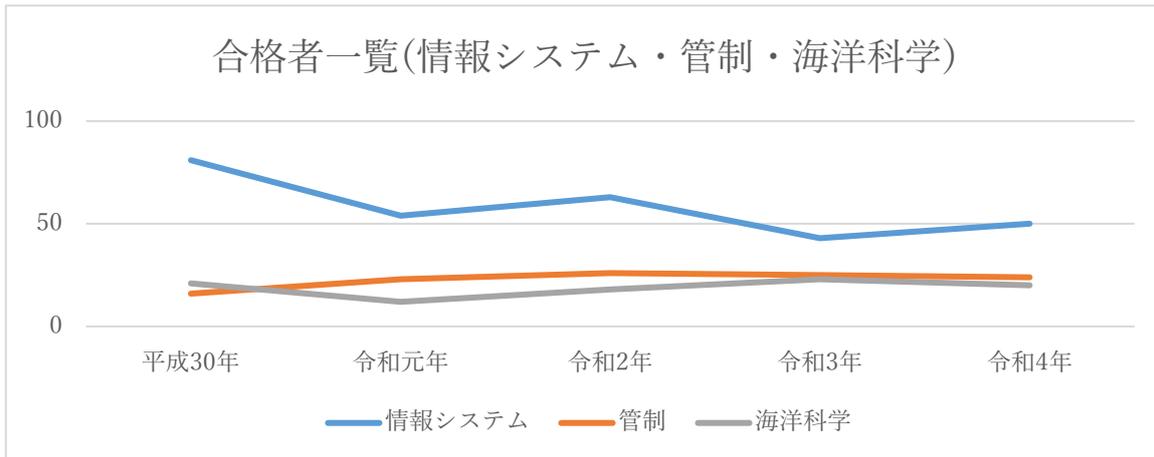
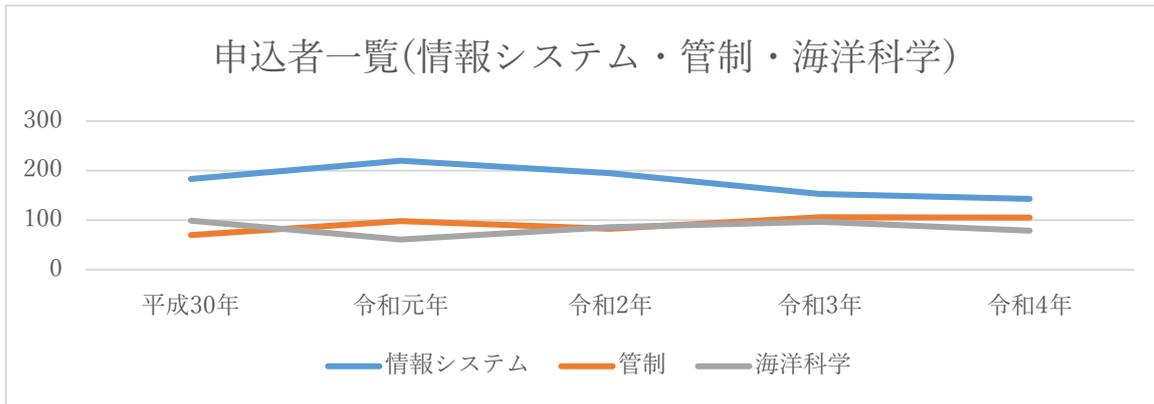
## 2 過去5年の申込者等の推移

試験区分 /受験者(内女性)	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
船舶運航システム	3,130(435)	2,255(365)	3,310(492)	3,159(496)	2,977(501)
情報システム	183(48)	220(56)	195(51)	153(36)	143(36)
管制	70(30)	98(36)	83(42)	106(40)	105(42)
海洋科学	99(20)	61(10)	86(23)	97(24)	79(19)
船舶運航システム (特別)	5,970(1,507)	5,437(890)	4,958(967)	6,602(1,548)	6,067(1,492)

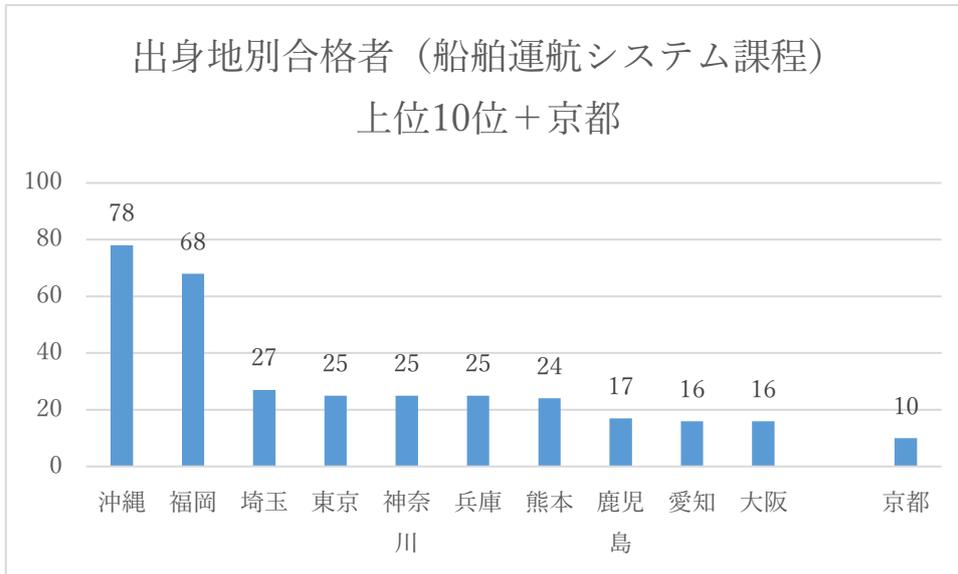
### 3 過去5年の合格者等の推移

試験区分/受験者(内女性)	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
船舶運航システム	444(59)	433(60)	556(71)	545(76)	519(76)
情報システム	81(19)	54(17)	63(19)	43(11)	50(13)
管制	16(8)	23(10)	26(20)	25(13)	24(7)
海洋科学	21(8)	12(2)	18(6)	23(4)	20(4)
船舶運航システム(特別)	1,028(285)	890(224)	967(223)	1,192(321)	1,026(275)



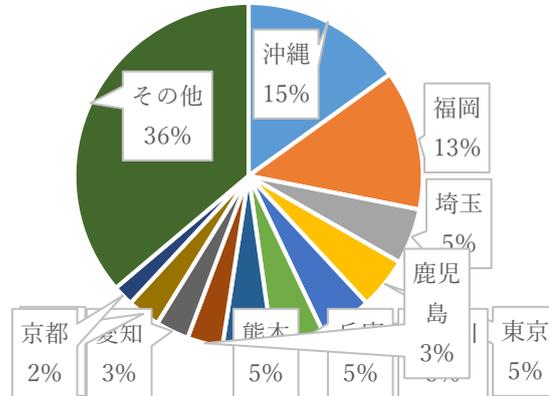


## 出身地別合格者



## 出身地別合格者（船舶運航システム課程）

上位10位+京都



## 出身地別合格者（情報）

